

中学校における通級による指導参考資料



～通常の学級とのつながりを重視した自立活動～

岩手県立総合教育センター
教育支援相談担当

この資料は、通常の学級とのつながりを重視して、対象生徒の「見立て」や指導者間の共通理解のためのツール、生徒の困難さに合わせた自立活動の指導事例を紹介しています。それぞれの状況に合わせ、アレンジしながらご活用ください。

目次

1 通級による指導のながれ

- (1) 通級による指導のながれ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 通級指導教室の周知のためのパンフレットの例・・・・ 2



2 「見立て」と共通理解のための様式集

- (1) 生徒理解チェックシート・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) 困難さを捉えるための手がかり表・・・・ 4
- (3) アセスメントシート1, 記入例・・・・ 6
- (4) アセスメントシート2, 記入例・・・・ 8
- (5) 個別の指導計画記入例・・・・・・・・・・・・10
- (6) 学習記録様式例・・・・・・・・・・・・11
- (7) ふり返りカード様式例・・・・・・・・・・・・12
- (8) 自立活動の指導内容一覧・・・・・・・・・・・・13

3 自立活動の指導例集

- (1) 学習指導案
 - ア 様式例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - イ 自分に関すること・・・・・・・・・・・・ 15
 - ウ 生活上の困難さの改善に関すること・・・・ 18
 - エ 学習上の困難さの改善に関すること・・・・ 26
- (2) 自立活動の学習シート・・・・・・・・・・・・ 32
- (3) 対象生徒の困難さを改善するための支援ツール・・・・ 44
- 【参考文献】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47



how to



1 通級による指導のながれ

(1) 通級による指導のながれ

学校全体の共通理解

- ①教室経営案作成（経営目標，経営方針，入級基準，指導のしくみ，本年度の経営重点対象生徒について，年間指導計画 等）
- ②教室環境整備

通級指導教室の周知と入級について

- ①通級指導教室の周知（保護者向け→パンフレット p.2 通信等
生徒向け→学校生活の仕方の資料を用い学級担任が説明を行う）
- ②対象となり得る生徒についての相談（学級担任から，保護者から，生徒から）
- ③相談を受けた上で，情報を得る。情報収集→ 「生徒理解チェックシート」 p.3
「困難さを捉えるための手掛かり表」 p.4

対象生徒の「見立て」と共通理解

- ①通級による指導の必要性があると判断された場合→「アセスメントシート」 p.6～
※市の教育支援委員会で就学案が「通級指導教室的」と判断された生徒
※保護者，生徒本人の希望・確認が得られた場合
- ②個別の指導計画の作成 p.10～（自立活動の中の優先する指導内容の選定）
- ③担当者間で共通理解（指導内容について，時間割等）

通常の学級とのつながりを重視した通級による指導

- ①「個別の指導計画」を基に具体的な指導を行う。自立活動の指導例
- ②学習の記録（学習記録シート p.11 & 振り返りカード p.12）
- ③指導者間のやりとり（情報共有，報告等）②を使用しながら

指導者間の共通理解のための場の設定

指導者間の共通理解のための場の設定。【区切りの時期（提案）】

- 単元ごと（関連する自立活動が終了した後）→空き時間，放課後等に短時間で
- 学期ごと（学期末・・面談の前に）→時間を設定してもらう（教務に協力依頼）
- 学年末（次年度の方向性も合わせて）→時間を設定してもらう（教務に協力依頼）

(2) 通級指導教室の周知のためのパンフレットの例

ここでは中学校の教育相談の活動と通級指導教室等の運営を周知するための内容を掲載しています。

○ 中学校の教育相談

本校では、心の悩みに関する相談、対人関係の悩みに関する相談、自分の性格や生き方についての相談、学習内容の習得に関する相談や行動上の諸課題に関する相談にチームで対応します。

また、生徒の皆さんの相談だけでなく、ご家族の相談にも応じます。

○ よく相談を受ける内容

- ・教科の授業がわからない、自信が持てない。
- ・イライラする、やる気が出ない、集中できない。
- ・忘れ物が多い、宿題を忘れる、すぐ物をなくす、整理整頓が苦手。
- ・友だちを作るのが苦手、友だちとすぐけんかをしてしまう。
- ・書くことが苦手、読むことが苦手、計算が苦手、文章題が苦手。
- ・ゲーム、スマホ、ネットがやめられない。
- ・生活が不規則になってしまった。
- ・家庭学習が進まない。

○ サポート教室：「中央学習室」「まなびの教室」

「中央学習室」「まなびの教室」では、サポートスタッフが中心になって、生徒の皆さんの学校生活をサポートします。

○ 教育相談についての紹介

通級による指導を考えている生徒や保護者は、相談ニーズがあることが多い。相談の窓口を一本化して受け付け、相談内容に合わせて、それぞれの担当の先生やカウンセラーが対応する。何らかの困り感を感じている生徒の状況に合わせて、通級による指導につながることもできるシステムになっています。

あなたの願いを
かなえるために
教育相談活動と中央学習室
まなびの教室の運営



○ 通級指導教室の紹介

学校によって、独自の通級指導教室の呼び方がある。学習や学校生活でさらに良くしていきたいことを一緒に考え、学習します。

■ まなびの教室

- 学習や学校生活で更に良くしていきたいことを一緒に考え、皆さんの普段の学習がより良いものになるように「まなびの教室」がサポートします。「まなびの教室」で学ぶ生徒は、普段は自分の学級で授業を受けますが、1週間に1～3時間くらい「まなびの教室」で学ぶという生活を送ります。

■ お問い合わせ

- ご相談のお申し込み、中央学習室・まなびの教室の利用に関するお問い合わせは、学級担任または下記担当までお願いします。

担当： 教育相談主任

スクールソーシャルワーカー(SSW)

生徒指導主事

スクールアシスタント

指導教諭

相談員

主幹教諭

※昨年同様、スクールソーシャルワーカーにもお手伝いをしていただくことになりました。教育に関してだけでなく社会福祉等の専門的な知識等も用いて、生徒の置かれている様々な環境に働きかけて支援を行っていただきます。

通級指導

スクールカウンセラー(SC)

○ SC・SSWについて 勤務時間：10:00～17:00 勤務日：基本的に木曜日

2 「見立て」と共通理解のための様式集

(1) 生徒理解チェックシート

No

秘 生徒理解チェックシート

記入日 年 月 日
生徒名

1 気にならない, 2 まれに気になる, 3 時々気になる, 4 とても気になる

	項目	✓を記入↓	1	2	3	4
1	学習面	学習意欲に乏しい				
2		読みの困難さ				
3		書くことの困難さ				
4		文章問題の困難さ				
5		計算の困難さ				
6		宿題・家庭学習の不足				
7	生活面	身辺自立の困難さ				
8		整理整頓ができない				
9		忘れ物が多い				
10		提出物が出ない				
11	あいさつ・返事ができない					
12	心理・社会面	攻撃的・暴力 ☆				
13		万引き・器物破損等 ☆				
14		多動・離席が多い ☆				
15		パニックになる ☆				
16		落ち着きがない				
17		感情の起伏が大きい				
18		チック・場面緘黙				
19		友達がいない				
20		感情表現が苦手				
21		人の気持ち理解苦手				
22		気が散りやすい				
23		協調性不足				
24	ルールが守れない					
25	登校状況	登校渋り ☆				
26		欠席多い ☆				
27		休み明け欠席多い ☆				
28		別室登校あり ☆				
29	遅刻・早退が多い					
30	家庭状況	経済面に配慮必要				
31		養育態度に問題あり ☆				
32		虐待の疑い ☆				
33	保健	食物アレルギー				
34		偏食				
35		喘息				
36		てんかん				
37		その他・疾病・服薬等				
38	特記事項					
合計						

特記事項

連 携	
	学年会で検討
	コーディネーターに報告
	家庭との連携必要
	支援チーム必要
	個別の支援計画作成必要
	専門機関との連携必要

※合計4以上・・・学年会で検討 8以上・・・校内教育支援委員会に報告 (☆は1つでも要報告)

記入者 ()

(2) 困難さを捉えるための手がかり表

	状 況	困難を生じる背景	支援の方向性
読む	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名や片仮名が読めない たどり読み 読み違い とばし読み 繰り返して読む ゆっくり 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚認知(形のとらえ) 文字の形をそろえる 文字の形の判別(似ている形) 視線の動き 見る順番 見る速さ 注視する 	<ul style="list-style-type: none"> 拡大 文字を大きく 書体を変える 分かち書き スラッシュを入れる 改行の変更 行間を開ける 背景の色を変える 読む部分に色をつける
	<ul style="list-style-type: none"> 単語や文節の途中で区切って読む 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉のまとまりの捉え 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字が読めない 訓読みと音読みの混乱
書く	<ul style="list-style-type: none"> 覚えられない 似た文字と誤る 細かな部分を誤る 鏡文字を書く へんやかんむりが同じ漢字を混同する 細部を書き間違える 黒板を書き写すことが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚(形態)認知(形のとらえ) 文字の形を捉える 線の重なりを捉える 文字の形の判別(似ている形) 文字の形の分解・合成 視線の動き 	<ul style="list-style-type: none"> 拡大 書体を変える 書き順ごとの色付けや動画 部分の色付け 部分の分解と合成 手元で確認 代替え
	<ul style="list-style-type: none"> 思い出せない 調べられない 主語と述語が対応していない 助詞が正しく使えない 句読点が正しく打てない 作文に気持ちや様子がわかる表現を使うことが苦手 読みにくい字を書く 形が整わない 大きさが整わない、マスから出る まっすぐでない 	<ul style="list-style-type: none"> 記憶 意味理解(知識とのつながり) 語彙力 文の構成 手指の巧緻性 目と手の協応 図形構成 環境・道具との不一致 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や言葉を調べる 下書き 言葉の並び替え 助詞の使い方 なぞり 代替え
聞く	<ul style="list-style-type: none"> 音の聞き違いがある 集団の指示を聞くことが難しい 個別の指示を聞くことができる 聞き落としや聞き返しがある 新しい言葉を覚えられない 聞いたことをすぐに忘れる 表現が変わると理解が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 機能未発達 経験不足 視覚的情報 聴覚的情報 集中力 記憶力 集中力 語彙力 	<ul style="list-style-type: none"> 音の聞き分け (単音、単語) 文章の聞きとり 文字で提示 写真や絵で提示 活動手順の確認 繰り返し再生可能な音声で確認 ことばを調べる ことば遊び
	<ul style="list-style-type: none"> 発話がない たどたどしく話す 言葉につまる 分かりやすく話すのが苦手 声の大きさの調整が難しい 大きすぎ 小さすぎ 	<ul style="list-style-type: none"> 語彙数 言葉の想起 言葉の選択 言葉の構成 音の調整 	<ul style="list-style-type: none"> 絵を選択→音声表現 文字入力・選択→音声表現 文字入力→文字提示 音量の視覚化

	状 況	困難を生じる背景	支援の方向性
計算	<ul style="list-style-type: none"> 数えることが難しい 位数の大きい数を読むことが難しい 分数、小数、負の数の理解が難しい 指を使って計算する 繰り上がりや繰り下がりが難しい 2桁同士の乗法や桁数の多い除法が難しい 小数や分数の計算が難しい 九九ができない 暗算が難しい 時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚認知 数の把握 具体との結びつけ 数の概念 量感の把握 位の理解 計算のルール 思考 記憶 体験の少なさ 集中力 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物と数(表記)と読み方(音)をつなぐ 計算のルールを視覚化 計算のルールを整理 繰り返しの取組 即時評価
行動	<ul style="list-style-type: none"> 気が散りやすい 注意の持続が難しい 課題を終了するまでもたない マイペース 課題遂行に時間を要する じっとしていいられない 順番を待てない トラブルが多い 予測せずに行動する 活動が止まる 計画的に事を進めることが難しい 忘れやすい、忘れ物が多い 気持ちの切り替えが難しい かっとなりやすい 状況に応じた声量(音量)が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 環境の影響 視覚的情報 聴覚的情報 選択的注意 状況の把握 周りの状況 活動の状況 プランニング 記憶 不安 モニタリングの困難 	<ul style="list-style-type: none"> 自力で取り組める環境づくり ⇒個のペースに応じる 時間の見通し 活動の見通し 記憶の補助 自己理解を図る 気持ちの安定 状況把握 (状況の視覚化)
社会性	<ul style="list-style-type: none"> 場に応じたあいさつができない 謝ることができない 約束を守れない 集団行動が難しい 人前での不適切な行動が見られる いつもと違う場面で活動が困難 仲間と共同作業が難しい 相手の思いを想像することが難しい 聞かれたことをうまく答えられない 会話がかみ合わない、続かない 順序を立てて話すことができない 人前でスピーチができない 自分の気持ちをうまく伝えることができない 話し合いで意見を譲ることができない 	<ul style="list-style-type: none"> 他者意識が育っていない 状況の把握 ソーシャルスキルの未定着 不安 状況の把握 未学習、経験の少なさ ソーシャルスキルの未定着 	<ul style="list-style-type: none"> 見通し 安心感 行動のふり返り 適切な行動の理解 他者の気持ちの理解 表現するための補助 思考の整理 やりとりの練習
社会生活	<ul style="list-style-type: none"> 一般常識の理解が難しい 公共のルールの理解が難しい 携帯電話・メールのマナーの理解が難しい 対人マナーの理解が難しい スケジュール管理ができない 身だしなみを整えることが難しい 健康管理ができない 運動習慣がない 薬の管理ができない 病院の利用の仕方が分からない 金銭管理ができない 交通ルールの理解が難しい 公共交通機関の利用の仕方が分からない 災害時の対応の仕方が分からない 防災に関する理解が難しい 掃除、洗濯、調理の仕方の理解が不十分 衣服管理ができない ゴミの分別の仕方が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> 状況把握 状況に応じた対応 未学習、経験の少なさ 計画力 状況の把握 状況に応じた対応 未学習、経験の少なさ 管理能力 未学習、経験の少なさ 管理能力 計画力 状況の把握 状況に応じた対応 未学習、経験の少なさ 未学習、経験の少なさ 家事に関する能力 管理能力 	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じた判断の補助 ルール、マナーの理解 スケジュール管理の仕方の理解 状況に応じた判断の補助 健康管理や薬の管理の仕方の理解 金銭管理の仕方の理解 状況に応じた判断の補助 災害時等の対応の仕方の理解 状況に応じた判断の補助 家事の仕方の理解 衣服管理の仕方の理解

(3) アセスメントシート1, 記入例

通級による指導 アセスメントシート1

No.(-)

氏名	性別	学年	年	組
生育歴（診断名，検査結果，関係機関等）				
環境について				
家族構成	学校	友人関係など		
本人について				
行動（生活）	学習	対人・社会性		
今までの支援について				
行動（生活）	学習	対人・社会性		
本人の願い				
保護者の願い				
作成者		作成日	年	月 日

氏名	〇〇〇〇	性別		学年	年 組
生育歴 (診断名, 検査結果, 関係機関等) WISC-IV FSIQ☆☆ VC★★ WMIC〇 服薬あり LDI-R A型 新版S-M社会生活能力検査SQ◆					
診断名や検査結果等を支援に関わる情報を記入。服薬があれば、薬名などもあると良い。※個人情報なので取り扱い注意					
環境について					
家族構成 父, 母, , 妹, 本人の4人家族		学校 〇〇市立☆☆小学校卒業		友人関係など 部活の友達関係は良好	
本人を取り巻く環境など記入する。					
本人について					
行動 (生活) ・ストレスが溜まると欠席することがある。 ・環境が変わったときに対応する力が弱い。 ・こだわりが強い。		学習 ・文章題から計算式を作るのが 難しい。 ・図形の角度を求めるような計算が難しいと感じている。 ・英語では, 長文や書く学習が苦手。		対人・社会性 ・普段はおとなしく素直である。 ・自分の気持ちを表現することが苦手である。 ・誤解を受ける行動をすることがある。	
主に学校生活の様子を記入する。支援に関わる事柄があればそれも記入する。					
今までの支援について					
行動 (生活) 不調を訴えたり, ストレスを感じていると見受けられた際に, 担任が話を聞くなどして対応していた。		学習 苦手な問題を時間をかけて個別指導をした。		対人・社会性 誤解を受けた行動をとった時, なぜそうなったかなど個別指導で担任と話し合った。	
小学校時代の様子を記入。具体的支援があれば, それも記入する。					
本人の願い		英語と数学の点数を上げたい。 学校生活に対する, 本人のこうなりたいという願いを書く。進路について考えがあればそれも記入する。			
保護者の願い		数学の通級をさせたいと考えている。分からないところをすぐに聞いて解決してほしい。 本人に望む願いや, 卒業後の進路についての願い等を記入する。			
作成者	★★☆☆☆	作成日	平成〇年〇月〇日		

(4) アセスメントシート2, 記入例

通級による指導 アセスメントシート2

NO. (-)

状況
(○得意なところ, 興味・関心, 強さ)

(△気になるところ, 苦手, 弱さ)

背景として考えられる要因

長期目標 (通常の学級での姿)

	手立て 目標	得意をいかす	苦手を補う	苦手を育てる
通級による指導				

通常の学級との連携

memo

状況
 (○得意なところ, 興味・関心, 強さ)
 素直, 短期記憶, 習慣化すると繰り返してできる(生活の中で得た知識), 意味づけを伴った理解, 聴覚的な情報の選別, 親の協力

(△気になるところ, 苦手, 弱さ)
 長期記憶, 整頓, 言葉の概念, 応用, 言語表出(話す, 書く), 場をよむ, 視覚的な推理・処理, 空間の認知, 多動, 不器用

生活面や学習面, 対人関係で見られる様子を記入。

背景として考えられる要因
 WISCIVにおいて, FSIQ☆☆ VCI★★ WMI□□
 ため, 単純に比較できない。ADHDの診断あり LDI-R A型
 小学校LD等通級指導教室へ通級。こだわりの強い 固さ

アセスメントシート1の生育歴や, 環境面, 本人の状況から考えられることを記入。

長期目標 (通常の学級での姿)
 ・言語の意味を理解し, コミュニケーション能力を豊かにする。
 ・文字を適切な大きさと素早く書ける。
 ・数学で身に付いた計算方法を確実に答えに結び付ける。

本人について通常の学級で目指したい姿の視点で記入。

	手立て	得意をいかす	苦手を補う	苦手を育てる
通級による指導	目標 言語の意味の理解	(家庭学習で, 繰り返しノートに書く練習) コグトレ(聞く)		新しく学習する言葉の意味をスモールステップで具体例を示しながら習得させる
	文字を適切な大きさと見やすく素早く書く(不器用さ)	構成を言葉で補足する	書くスペースの確保	ビジョントレーニング コグトレ(見る・推理) パズル ペンの持ち方指導
	身に付いた計算方法を確実に答えに結び付ける	計算方法カード スモールステップ 言葉での説明を加える	書くスペースの確保 時間を決めて書く 問題数を減らす	学習方法の習慣化

得意なこと, 苦手なこと, 背景として考えられる要因の中で, 指導・支援が必要な部分を想定して記入。

通常の学級との連携
 図を示す時には, 補足説明をしてもらう

通常の学級で指導・支援する際に, 考えられることを記入。

memo
 集中力を削ぐ原因の1つがペンケース。

(5) 個別の指導計画記入例

通級による指導 個別の指導計画(自立活動)

NO.(-)

氏名						性別	学年	年 組	
状況把握	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション			
	得意なこと ・習慣化することができる ・欠席しない		・素直 ・意味づけを伴った理解		・聴覚的な情報の選別 ・短期記憶				
6 区分27項目に当てはめる	障がいの状態, 発達や経験の程度, 興味・関心, 生活や学習環境などについて情報収集し, 学習上又は生活上の困難の視点から整理する。								
指導目標	苦手なこと								
		・視覚的な推理, 処理	・場を読む	・長期記憶 ・整頓 ・空間認知 ・多動	・不器用	・言語表出(話す, 書く) ・言葉の概念	状況把握に基づき, 優先的な指導が必要と思われる内容を目標設定する。		
選定項目	・言葉の意味理解を促し, コミュニケーション能力を豊かにする。 ・書字について, 適切な大きさで, 見やすく素早く書くことへの意識を育て, 計算ミスの軽減を図る。 ・数学で身についた計算方法を確実に答えに結びつけていけるようにする。						「特別支援学校学習指導要領 自立活動編」に示される6区分27項目の中から, 指導目標を達成するために必要な項目を選定する。(全区分からの選定ではなく, 対象生徒に必要な区分及び項目のみとする。)(自立活動の指導内容(6区分27項目)については, 13頁を参照のこと)		
	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション			
具体的な指導内容	(3)障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること		(1)他者との関わり方の基礎に関すること	(2)感覚の認知や特性への対応に関すること (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること (5)認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関すること	(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること	(3)言語の形成と活用に関すること			
	通級による指導では ・ビジョン・トレーニング(視空間認知), コグトレ, パズル 5(5) 4(4) ・日常会話 6(3) 2(3) 3(1) ・書くトレーニング 2(3) 4(2) 5(5)				指導開始日 H29.4. 指導時数 週2時間 指導形態 個別指導		選定した項目を関連付けた具体的な指導内容を設定する。		
通常の学級では ・図示+説明(聴覚的補助) ・家庭学習指導		対象生徒は, 通級による指導で行った内容を実践してみる。指導者はその様子を観察, または, 教材や指示の仕方等を工夫(通級指導教室との連携)する。							
通 年	目 標(本人の目指す姿)		手 立 て			評 価			
	・計算のつまずきを原因を明らかにする。 ・単語と単語の間を開けて書くことができる。 ・視空間認知を高める。		通級による指導 ・ビジョン・トレーニング ・日常会話(一日の過ごし方等) ・計算(連立方程式)の解き方 ・英語の書字, 単語練習			通級による指導			
具体的な指導内容を通しての, 本人の目指す姿を達成目標として, 設定する。		通常の学級 ・通級指導教室と連携 ・家庭学習指導			通常の学級			指導の経過をふまえた目標達成の状況を手立てとの関連から, 記述により評価する。	
		目標(本人の目指す姿)を達成するための指導者側が講じる手立てを記入する。							

※個別の指導計画については, 指導者間で共有できるようにファイリングしておく。

(6) 学習記録様式例

月 日() 校時

通級指導教室 学習記録

学習の約束

あいさつ	準備	集中	積極性	チャイム席
------	----	----	-----	-------

氏名			年 組
学習課題	本時の学習課題を記入する		
領域等	学習内容	学習の様子	
自立活動	<p>学習した順番に内容を記入。見やすいように箇条書きで記入していく。</p> <p>個別の指導計画をもとに内容を選択し、○をつける。</p> <p>必要に応じて、学習内容として、教科の内容を取り入れた場合に、その教科名を記入する。</p>	<p>顔の表情やしぐさ、できるようになったこと、取組に難しさを感じているような状況など、学習活動における様子を記入する。</p> <p>学習内容に応じて、両方の記録を見せ報告、確認のサインをもらう。</p>	
健康の保持			
心理的な安定			
人間関係の形成			
環境の把握			
身体の動き			
コミュニケーション			
教科の内容の取り扱い			
教科名			
次回の予定	いつ、何校時にやるか、学習内容が決まっていれば簡単に記入する。	学級担任 教科担任 確認印	

Memo (学級担任・教科担任)より

学級や授業での様子として。気になる事項があった場合のみ記入する。

(7) ふり返りカード様式例

通級指導教室 ふり返りカード

月 日 () 校時

氏名		年	組
----	--	---	---

学習課題

本時の学習課題を生徒に書かせる。青囲みする。必要に応じて支援する。

今日の学習のふり返り

Aできた Bまあまあ C調子が悪かった

	ふりかえり項目		達成度		
			A	B	C
①	さわやかな挨拶を心がけましたか。	あいさつ			
②	学習道具はそろっていませんか。	準備			
③	集中して取り組めましたか。	集中			
④	「やるぞ!」という気持ちで取り組めましたか。	積極性			
⑤	時間を守りましたか。	チャイム席			
⑥	ていねいな言葉づかいができましたか。				

3段階で自己評価をする。

今日の学習の感想または質問など、書きましょう

授業の振り返りを言葉で表現してみる。
書く内容を考えることが苦手な生徒の場合には、具体的な視点を提示する。

(8) 自立活動の指導内容一覧

自立活動の指導内容（6区分27項目）

1	健康の保持 生命を維持し、日常生活を行うために必要な身体の健康状態の維持・改善を図る観点から内容を示している	(1)	生活のリズムや生活習慣の形成に関すること
		(2)	病気の状態の理解と生活管理に関すること
		(3)	身体各部の状態の理解と養護に関すること
		(4)	障がいの特性の理解と生活環境の調整に関すること
		(5)	健康状態の維持・改善に関すること
2	心理的な安定 自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図る観点から内容を示している	(1)	情緒の安定に関すること
		(2)	状況の理解と変化に関すること
		(3)	障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること
3	人間関係の形成 自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う観点から内容を示している	(1)	他者とのかかわりの基礎に関すること
		(2)	他者の意図や感情の理解に関すること
		(3)	自己の理解と行動の調整に関すること
		(4)	集団への参加の基礎に関すること
4	環境の把握 感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする観点から内容を示している	(1)	保有する感覚の活用に関すること
		(2)	感覚や認知の特性への対応に関すること
		(3)	感覚の補助及び代行手段の活用に関すること
		(4)	感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること
		(5)	認知や行動の手掛かりとなる懸念の形成に関すること
5	身体の動き 日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする観点から内容を示している	(1)	姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること
		(2)	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること
		(3)	日常生活に必要な基本動作に関すること
		(4)	身体の移動能力に関すること
		(5)	作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること
6	コミュニケーション 場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする観点から内容を示している	(1)	コミュニケーションの基礎的能力に関すること
		(2)	言語の受容と表出に関すること
		(3)	言語の形成と活用に関すること
		(4)	コミュニケーション手段の選択と活用に関すること
		(5)	状況に応じたコミュニケーションに関すること

3 自立活動の指導例集

(1) 学習指導案

ア 様式例

通級指導教室 自立活動学習指導案 (様式例)

指導者：

1 題材名

2 指導観

本人の状況，得意な面，苦手な面，本人の目標や優先目標等を記入する

(1) 生徒について

(2) 題材について

優先する自立活動について記入する

(3) 具体的な手立てについて

(4) 通級による指導と通常の学級とのつながり

だれが	つながり (役割)
通級指導教室担当者	
学級担任	
対象生徒	

3 指導計画

4 本時の構想

(1) 本時の目標

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点	◆評価◇教具
導入 分			
展開 分	学習課題		
終末 分			

(3) 通常の学級とのつながり

学級で試すこと	対象生徒	学級担任

イ 自分に関すること

通級指導教室 自立活動学習指導案 ①

1 題材名 「自分のこと①」

2 題材について

(1) 生徒について

中学校生活において、学習や生活の場面で困難を抱えており、通級指導教室を利用している。困難を抱えてはいるが、本人はどのようなところに原因があるのかまでは気づいていない面がある。

(2) 題材について

自立活動の区分指導項目

2 (3) 心理的な安定 (障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること)

3 (3) 人間関係の形成 (自己理解と行動の調整に関すること)

生徒が自分のことをどの程度理解しているのか知ることが必要である。自分を知ることで、良いところや、学習や生活の場面で上手くないことに気づく事ができる。その気づきをもとに、上手くないこと (困難さ) を改善・克服するための自立活動につながるきっかけになると考える。

(3) 具体的な手立てについて

- ・毎時間の学習の流れを同じにする。
- ・個別指導のため、生徒が緊張しすぎないような雰囲気作りをする。
- ・学習シートを用いて、生徒の記録から様子や変化を感じ取れるようにする。
- ・生徒が自主的に学習できるよう発問等を工夫する。

(4) 通級による指導と通常の学級とのつながり

だれが	つながり (役割)
通級指導教室 担当者	・通級による指導で学習したことを学級担任に伝え、授業で配慮するポイントを提示する。 ・通級による指導で対象生徒の様子を記録に残す。
学級担任	・学習記録用紙をチェックする。 ・生徒自身が考える自己理解に触れることで、今後の指導・支援に役立てる。 ・生徒への声かけ
対象生徒	・通級による指導で学習した内容を、学級で試す。 ・できたこと、難しかったことを自分の言葉で伝える。 ・自己評価をし、改善点などを振り返る。

3 本時の構想

(1) 本時の目標

自分の特徴について、長所短所や得意不得意などをじっくり考えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点	◆評価◇教具
導入 15分	1 あいさつ 2 オリエンテーション 3 ビジョントレーニング	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や声の大きさを意識できるように声がけをする 学習の仕方や自立活動について説明する 視線を素早く正確に動かすトレーニングであることを予告する 	◆一人でも学級でやる時と同じようにできたか 姿勢の保持ができたか
展開 25分	4 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">自分について考えてみよう</div> <ul style="list-style-type: none"> 課題を復唱し、学習記録用紙に記入する 5 自立活動 ①自分の良いところチェック p. 33 <ul style="list-style-type: none"> 結果を自分なりに分析する ②自己理解チェック p. 32 <ul style="list-style-type: none"> 苦手に注目し、解決法を考え、考えたことを発表する 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に書くことができるように促す 指導者も一緒に行く 取り組む時間を始めに予告し、落ち着いて取り組めるようする 予告した時間になったら、途中でやめるよう促す 考えがまとまらず、困難が見られた場合は、きっかけになるヒントを提示する 	◇学習の流れの提示 ◇学習記録用紙 ◇チェック用紙 ◆1つ1つの項目を考えながらチェックすることができたか ◆自分の考えを発表することができたか
終末 10分	6 まとめ <ul style="list-style-type: none"> 自分について考えてみての感想を書く p. 34 7 ふり返り 8 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 何を書くか項目を提示する 授業全体をふり返り、次回に見通しを持つことができるようにする 姿勢や声の大きさを意識できるように声がけをする 	◇感想用紙 ◆自分についてじっくり考えることができたか

(3) 通常の学級とのつながり

学級で試すこと	対象生徒	学級担任
	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解チェックの中から、得意な事や苦手なところをどの場面（時間）で意識したか、次の時間までに1つ報告できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 通級による指導の学習記録をチェックする 生徒自身が考えている「自分のこと」を理解する

1 題材名 「自分のこと②」

2 題材について

(1) 題材について

自立活動の区分指導項目

2 (3) 心理的な安定 (障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること)

3 (3) 人間関係の形成 (自己理解と行動の調整に関すること)

生徒が自分を知ること、良いところや、学習や生活の場面で上手くいかないことに気づく事ができたか、その気づきをもとに、上手くいかないこと (困難さ) を改善・克服するための方法が得られたかなど、自分のことをどの程度理解しているか振り返る自立活動であると考え。

3 本時の構想

(1) 本時の目標

今の自分についてじっくりと考えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点	◆評価◇教具
導入 15分	1 あいさつ 2 今日の調子は? 3 コグトレ (集中力)	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や声の大きさを意識できるよう声がけをする 話し方を意識できるようにする 取り組み時間を提示する 	◆一人でも学級でやる時と同じようにできたか 姿勢の保持ができたか
展開 25分	4 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自分について考えてみよう</div> <ul style="list-style-type: none"> 課題を復唱し、学習記録用紙に記入する 5 自立活動 ①自分の課題を改善するために意識してチャレンジしたことを振り返る p.35 ②自分の考えを伝える ①で考えたことを発表する	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に書くことができるように促す 前回の学習を思い出させながら学習シートに記入させていく 取り組む時間を始めに予告し、落ち着いて取り組めるようする 予告した時間になったら、途中でやる 考えがまとまらず、困難が見られた場合は、きっかけになるヒントを提示する 	◇学習の流れの提示 ◇学習記録用紙 ◇チェック用紙 ◆自分の考えを書き出すことができたか ◆自分の考えを発表することができたか
終末 10分	6 まとめ 自分について考えてみての感想を書く。 7 振り返り 8 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 今回の授業全体を振り返ることができるようにする。 姿勢や声の大きさを意識できるように声がけをする 	◇感想用紙 ◆自分についてじっくり考えることができたか

ウ 生活上の困難さの改善に関すること

通級指導教室 自立活動学習指導案 ③

1 題材名 「こんな時どうする?①」

2 題材について

(1) 題材について

自立活動の区分指導項目

2 (1) 心理的な安定 (情緒の安定に関すること)

3 (3) 人間関係の形成 (自己理解と行動の調整に関すること)

日常生活で起こる出来事に遭遇した際の様々な感情について、場面を考え判断しながら自分で気持ちのコントロールができる方法を身につける学習である。

(2) 具体的な手立てについて

- ・毎時間の学習の流れを同じにする。
- ・個別指導のため、生徒が緊張しすぎないような雰囲気作りをする。
- ・学習シートを用いて、生徒の記録から様子や変化を感じ取れるようにする。
- ・生徒が自主的に学習できるよう発問等を工夫する。

(3) 通級による指導と通常の学級とのつながり

だれが	つながり (役割)
通級指導教室 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・通級による指導で学習したことを学級担任に伝え、授業で配慮するポイントを提示する。 ・通級による指導で対象生徒の様子を記録に残す。
学級担任	<ul style="list-style-type: none"> ・学習記録用紙をチェックする。 ・生活の様子を観察する。 ・生徒への声がけ
対象生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・通級による指導で学習した内容を、学級で試す。 ・できたこと、難しかったことを自分の言葉で伝える。 ・自己評価をし、改善点などを振り返る。

3 本時の構想

(1) 本時の目標

自分の特徴について、長所短所や得意不得意などをじっくり考えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点	◆評価◇教具
導入 15分	1 あいさつ 2 今日の調子は? p.45 3 ビジョントレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や声の大きさを意識できるように声がけをする ・生徒が自分の言葉で表現できるように話すきっかけを作る。 ・視線を素早く正確に動かすトレーニングであることを予告する 	◆一人でも学級でやる時と同じようにできたか 姿勢の保持ができたか

展開 25分	4 学習課題の確認		◇学習の流れの提示 ◇学習記録用紙
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">こんな時どうしますか？考えてみましょう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を復唱し，学習記録用紙に記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に書くことができるように促す 	
	5 自立活動		◇チェック用紙 ◆理由も考えることができたか ◆ほかの考え方を知ることができたか
	①自分の考えをもつ 学習シート p. 36	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組むだいたいの時間を始めに予告し，落ち着いて取り組めるようする 	
	②他の考え方を知る ・苦手に注目し，解決法を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と違う考え方もあることを場面を例えながら示す 	
終末 10分	6 まとめ		◇感想用紙 ◆自分についてじっくり考えることができたか
	・自分について考えてみての感想を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・何を書くか項目を提示する 	
	7 ふり返り	<ul style="list-style-type: none"> ・授業全体をふり返り，次回に見通しをもつことができるようにする 	
	8 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や声の大きさを意識できるように声がけをする 	

(3) 通常の学級とのつながり

学級	対象生徒	学級担任
学級で試すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活（学級）で試すことのできそうなことを決め，通級による指導で学習したことを実践する 	<ul style="list-style-type: none"> ・通級による指導の学習記録をチェックする ・学級での活動の場面で声がけをする

1 題材名 「こんな時どうする?②」

2 題材について

(1) 題材について

自立活動の区分指導項目

3 (4) 人間関係の形成 (集団への参加の基礎に関すること)

6 (1) コミュニケーション (コミュニケーションの基礎に関すること)

学級の活動の場面で起こる出来事に遭遇した際の様々な感情について、周囲の様子を見ながら、気持ちのコントロールができる方法を身につける学習である。

3 本時の構想

(1) 本時の目標

周囲の様子を見て、自分に合った気持ちのコントロールの方法を考えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点	◆評価◇教具
導入 15分	1 あいさつ 2 今日の調子は? 3 コグトレ (聞く力)	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や声の大きさを意識できるように声がけをする 生徒が自分の言葉で表現できるように話すきっかけを作る 生徒が聞き取りやすいように、声の大きさや読み上げる速さを工夫する 	◇学習の流れの提示 ◆一人でも学級でやる時と同じようにできたか 姿勢の保持ができたか ◇必要に応じて用紙の準備
展開 25分	4 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> こんな時どうしますか?考えてみましょう </div> 課題を復唱し,学習記録用紙に記入する 5 自立活動 ①自分の考えをもつ p.38~ ・文化祭の合唱練習,教科展示や準備の場面を想定し,気持ちのコントロールの仕方を考える ②周囲と上手く関わるための方法を①を生かして考える	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に書くことができるように促す 実際の文化祭取り組みの場面を思い出しながら,考え発表できるようにする 自分と違う考え方もあることを知り,自分の気持ちと周囲の気持ちを生かす方法を考えることができるようにする 	◇学習記録用紙 ◆理由も考えることができたか ◆集団で行動するときのポイントを考えることができたか

終 末 10 分	6 まとめ ・自分が取り組むことを決める	・考えた方法の中から、実際に取り組むことを決めさせ、演じてみる	◆集団の中で、周りの様子を見ながら、自分に合った気持ちのコントロールの方法を決めることができたか
	7 ふり返り	・授業全体をふり返り、次回に見通しを持つことができるようにする	
	8 あいさつ	・姿勢や声の大きさを意識できるように声がけをする	

(3) 通常の学級とのつながり

学級で試すこと	対象生徒	学級担任
	・文化祭取り組みで試すことのできそうなことを決め、通級による指導で学習したことを実践する	・通級による指導の学習記録をチェックする ・学級での活動の場面で声がけをする

1 題材名 「こんな時どうする?③」

2 題材について

(1) 題材について

自立活動の区分指導項目

2 (1) 心理的な安定 (情緒の安定に関すること)

3 (3) 人間関係の形成 (自己の理解と行動の調整に関すること)

日常生活や学級の活動の場面で起こる出来事に遭遇した際、場面にふさわしい善悪の判断ができるようにする方法を身につける学習である。

3 本時の構想

(1) 本時の目標

場面にふさわしい善悪の判断の方法を考えることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点	◆評価◇教具
導入 15分	1 あいさつ 2 今日の調子は? 3 コグトレ (聞く力)	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や声の大きさを意識できるように声かけをする 話し方を意識できるようにする 生徒が聞き取りやすいように、声の大きさや読み上げる速さを工夫する 	◇学習の流れの提示 ◆一人でも学級でやる時と同じようにできたか ◆姿勢の保持ができたか ◇必要に応じて用紙の準備
展開 25分	4 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> こんな時どうしますか?考えてみましょう </div> <ul style="list-style-type: none"> 課題を復唱し、学習記録用紙に記入する 5 自立活動 <p>①自分の考えをもつ p.42</p> <ul style="list-style-type: none"> いくつかの場面を想定し、ふさわしい善悪の判断の仕方を考える <p>②他の考え方を知る</p> <p>③考えを深める</p>	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に書くことができるように促す 場面をイメージできるようにする 過去に体験したことがあれば、それをもとに考えさせ、発表できるようにする。 自分と違う考え方もあることを場面を例えながら示す。 ①と②を合わせて、さらに方法がないか考えることができるようにする 	◇学習記録用紙 ◆理由も考えることができたか ◆ほかの考え方を知ることができたか

終 末 10 分	6 まとめ ・自分が取り組むことを決める	・考えた方法の中から、実際に取り組むことを決めさせる。取り組むことが多くなりすぎないように声かけをし、演じさせる	◆自分に合った善悪の判断の方法を決めることができたか
	7 ふり返り	・授業全体をふり返り、次回に見通しを持つことができるようにする	
	8 あいさつ	・姿勢や声の大きさを意識できるように声かけをする	

(3) 通常の学級とのつながり

学	対 象 生 徒	学 級 担 任
級 で 試 す こ と	・学校生活（学級）で試すことのできそうなことを決め、通級による指導で学習したことを実践する	・通級による指導の学習記録をチェックする ・学級での活動の場面で声かけをする

1 題材名 「こんな時どうする?④」

2 題材について

(1) 題材について

自立活動の区分指導項目

3 (3) 人間関係の形成 (自己の理解と行動の調整に関すること)

6 (1) コミュニケーション (コミュニケーションの基礎的能力に関すること)

日常生活や学級の活動の場面で起こる出来事に遭遇した際、周囲の様子を見ながら場面にふさわしい善悪の判断ができるようにする方法を身につける学習である。

3 本時の構想

(1) 本時の目標

周りの様子を見て、場面にふさわしい善悪の判断の方法を考えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点	◆評価◇教具
導入 15分	1 あいさつ 2 今日の調子は? 3 コグトレ (聞く力)	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や声の大きさを意識できるように声がけをする 話し方を意識できるようにする 生徒が聞き取りやすいように、声の大きさや読み上げる速さを工夫する 	◇学習の流れの提示 ◆一人でも学級でやる時と同じようにできたか ◆姿勢の保持ができたか ◇必要に応じて用紙の準備
展開 25分	4 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> こんな時どうしますか?考えてみましょう </div> <ul style="list-style-type: none"> 課題を復唱し、学習記録用紙に記入する 5 自立活動 <ul style="list-style-type: none"> ①自分の考えをもつ 授業や休み時間、部活動の場面を想定し、ふさわしい善悪の判断を考える ②周りの様子を考え、その場にふさわしい善悪の判断の仕方を①を生かして考える 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に書くことができるように促す 場面をイメージできるようにする 授業や休み時間、部活動の場面を思い出しながら、考えることや発表ができるようにする 学校生活では、自分だけではなく周りに関わり合いながら行動していることへの気づきを促す 	◇学習記録用紙 ◆理由も考えることができたか ◆集団で行動するときのポイントを考えることができたか

終 末 10 分	6 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 考えた方法の中から、実際に取り組むことを決め、取り組むことが多くなりすぎないように働きかける また、行動の仕方を具体的にイメージできるようにロールプレイをする 	◆自分取り組むことを決めることができたか
	7 ふり返り		
	8 あいさつ		

(3) 通常の学級とのつながり

学 級 で 試 す こ と	対 象 生 徒	学 級 担 任
		<ul style="list-style-type: none"> 学校生活（学級）で試すことのできそうなことを決め、通級による指導で学習したことを実践する

エ 学習上の困難さの改善に関すること

通級指導教室 自立活動学習指導案 ⑦

1 題材名 「スイスイ、スーラスラ」

2 題材について

(1) 題材について

自立活動の区分指導項目

5 (5) 身体の動き（作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること）

6 (3) コミュニケーション（言語の形成と活用に関すること）

教科：英語

「丁寧にバランスよく書くことができる」、「聞き取って読んだり話したりすることができる」ための学習。「書くこと」については、丁寧に書くことやバランスよく書くために、ノートに区切りを付け、その中に入るように書かせる。また制限時間を決め、時間内に見通しを持って書き進める。「読むこと」については、聞き取ったことを理解して読んだり話したりできるように、模範を示しながらやりとりをする学習。どちらも英単語や英文を取り扱い行う。生徒の困難さに合わせて調整しながら行うことができる学習であるとする。

(2) 具体的な手立てについて

- ・ 1時間の見通しを持たせる。
- ・ 個別指導のため、生徒が緊張しすぎないような雰囲気作りをする。
- ・ 学習シートを用いて、生徒の記録から様子や変化を感じ取れるようにする。
- ・ 学級に戻った時、生徒が学んだことを実践することを確認する。
- ・ 生徒が自主的に学習できるよう発問等を工夫する。

(3) 通級による指導と通常の学級とのつながり

だれが	つながり（役割）
通級指導教室 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級で学習している進度を予め教科担任と打ち合わせをしておく。 ・ 通級による指導で学習したことを教科担任に伝え、授業で指導するポイントを提示する。 ・ 授業後はその様子（評価）を教科担任から聞き、記録に残す。
教科担任	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通級による指導で学習してきたことを踏まえ、授業の中で指導・支援する。 ・ 対象生徒の様子を観察する。（机間巡視、表情、ノート等） ・ 授業の様子や対象生徒の気になったこと等を通級指導教室担当に伝える。（記録に残す）
学級担任	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習記録用紙をチェックする。 ・ 生徒への声かけ
対象生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通級による指導で学習した内容を、学級で試す。 ・ できたこと、難しかったことを自分の言葉で伝える。 ・ 自己評価をし、改善点などを振り返る。

3 本時の構想

(1) 本時の目標

書き出しから最後まで丁寧に書くことを意識することができる。
相手に伝わるように話すことができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点	◆評価◇教具
導入 10分	1 あいさつ 2 今日の調子は? 3 ビジョントレーニング	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や声の大きさを意識できるように声かけをする 生徒が自分の言葉で表現できるように話すきっかけを作る 多くの情報の中から目的の情報を素早く見つけ出すトレーニングであることを予告する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆一人でも学級でやる時と同じようにできたか ◇用紙の準備
展開 25分	4 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">スムーズに書こう！話そう！</div> <ul style="list-style-type: none"> 課題を復唱し、学習記録用紙に記入する 5 学習内容 自立活動，教科（英語） ①書くこと <ul style="list-style-type: none"> 丁寧に書く（視写） 時間内に書く (バランスを考えて) 英文を書く（視写） ②話すこと <ul style="list-style-type: none"> 英文を聞く (一通り，区切って) 聞き取って読む (声に出して) 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に書くことができるように促す 学級で学習している内容を取り入れ、「書くこと」「話すこと」を中心に進める 書くごとに，チェックし丸を付けたり，ポイントとなることを声かけする ※集中の妨げにならないように声かけの声の大きさを調節する 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習の流れの提示 ◇学習記録用紙 ◇本人が使用しているノートの体裁を整える ◆丁寧に書くことを意識しながら書くことができたか ◆聞いた通りに読んだり，話したりできたか ◆あきらめず取り組むことができているか
終末 15分	6 まとめ <ul style="list-style-type: none"> 自分が書いた文を声に出して読む 7 ふり返り <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習をもとに，学級で試すことを考える 8 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 座る姿勢に気を付けさせながら読ませる 授業全体をふり返り，学級で試すことを具体的に考えさせ意欲を持たせ，ノートにメモをするよう促す 姿勢や声の大きさを意識できるように声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ◆声の大きさなど相手に伝わるように読むことができたか

(3) 通常の学級とのつながり

学級で試すこと	対象生徒	教科担任
	<ul style="list-style-type: none"> 授業のノート 「学習課題」と「まとめ」を丁寧に書く 英文は単語のまとまりを意識して書く 話すこと 隣の人に伝わる声の大きさを，読む，話す (・チャレンジ目標 1回発言してみる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視等で丁寧に書かれているかチェックする ・励ましの声かけをする ・話す場面を設ける ・頑張りを評価する

1 題材名 「ミルミルとスイスイ」

2 題材について

(1) 題材について

自立活動の区分指導項目

4 (2) 環境の把握 (感覚や認知の特性への対応に関すること)

5 (5) 身体の動き (作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること)

教科：英語

「丁寧にバランスよく書くことができる」ための学習。「書くこと」については、丁寧に書くことやバランスよく書くために、手本を見ることや鉛筆の持ち方等を意識させ、ノートに区切りを付け、その中に入るように書くことを意識できるようにする。また制限時間を決め、時間内に見通しを持って書き進める。どちらも英単語や英文を取り扱い行う。生徒の困難さに合わせて調整しながら行うことができる学習であると考え。

3 本時の構想

(1) 本時の目標

「よく見る」を意識しながら、書き出しから最後まで丁寧に書くことができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点	◆評価◇教具
導入 10分	1 あいさつ 2 テストの振り返り 3 今日の調子は？ ・選択したカードの質問に答える	・姿勢や声の大きさを意識できるように声かけをする ・生徒が自分の言葉で表現できるように話すきっかけを作る	◆一人でも学級でやる時と同じようにできたか ◇用紙の準備
展開 25分	4 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px 0;">よく見てスムーズに書こう！</div> ・課題を復唱し、学習記録用紙に記入する 5 学習内容 自立活動，教科 (英語) ①コグトレ ・見る力 ②書くこと ・なぞり書き ・英単語 ・英文	・丁寧に書くことができるように促す ・集中して取り組めるよう、かける声の大きさに留意する ・ノートの書き方を意識できるようにする 鉛筆の持ち方，ゆっくり ・書くごとに，チェックし丸を付けたたり，ポイントを声かけする ※集中の妨げにならないように声かけの声の大きさを調節する	◇学習の流れの提示 ◇学習記録用紙 ◆集中して取り組めたか ◇ノートの体裁を整える ◆丁寧に書くことを意識しながら書くことができたか ◆あきらめず取り組むことができているか

終 末 15 分	6 まとめ ・手本を見ながら書く	・座る姿勢に気を付けさせながら書くことができるように声かけをする	◆単語の間を空けて書いているか（バランス）
	7 ふり返り ・本時の学習をもとに，学級で試すことを考える	・授業全体をふり返り，学級で試すことを具体的に考え，意欲を持てるよう，ノートにメモをするように促す	
	8 あいさつ	・姿勢や声の大きさを意識できるように声かけをする	

(3) 通常の学級とのつながり

	対 象 生 徒	教 科 担 任
学 級 で 試 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のノート「学習課題」と「まとめ」を丁寧に書く ・英文は単語のまとまりを意識して書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視等で丁寧に書かれているかチェックする ・対象生徒が立てた2つの目標を意識して書いているか，励ましの声かけをする ・頑張りやできたことを評価する

1 題材名 「Look to talk」

2 題材について

(1) 題材について

自立活動の区分指導項目

4 (2) 環境の把握 (感覚や認知の特性への対応に関すること)

6 (3) コミュニケーション (言語の形成と活用に関すること)

教科：英語

自分の表現したいことを言葉にして話す (伝える) ために、見ることを手掛かりとした学習。語彙を増やすことや言葉の意味を理解するために、絵や文字を見ながら実際に声に出して話してみる。見ることで言葉と意味の関係性が分かり、話すことで記憶する力や話すことへの苦手意識を軽減することができる。ここでは、英単語や英文を取り扱い行う。生徒の困難さに合わせて調整しながら行うことができる学習である。と考える。

3 本時の構想

(1) 本時の目標

「よく見る」を意識しながら話し、語彙を増やし言葉の意味を理解することができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点	◆評価◇教具
導入 10分	1 あいさつ 2 今日の調子は? ・選択したカードの質問に答える	・姿勢や声の大きさを意識できるように声がけをする ・話し方を意識できるようにする	◆一人でも学級でやる時と同じようにできたか ◇用紙の準備
展開 25分	3 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">よく見て話そう！</div> ・課題を復唱し、学習記録用紙に記入する 4 学習内容 自立活動, 教科 (英語) ①コグトレ ・見る力 ②話すこと ・絵を手掛かりに英単語を話す ・意味を手掛かりに英単語や英文を話す	・丁寧に書くことができるように促す ・集中して取り組めるよう, 声がけの大きさに留意する ・絵カードや英単語カードなどを手掛かりにすることを声がけする	◇学習の流れの提示 ◇学習記録用紙 ◆集中して取り組めたか ◆集中して見ることができたか ◆言葉と意味の関係性が理解できているか

終 末 15 分	5 まとめ ・英文を発表する	・声の大きさ（相手に伝わる）を意識させる	◆恥ずかしがらず話そうという気持ちで、取り組むことができているか
	6 ふり返り ・本時の学習をもとに、学級で試すことを考える	・授業全体をふり返り、学級で試すことを具体的に考えさせ意欲を持つことができるようにする	
	7 あいさつ	・姿勢や声の大きさを意識できるように声がけをする	

(3) 通常の学級とのつながり

	対象生徒	教科担任
学級で試すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・話す場面で、相手（となりの人）に伝わるような、声の大きさを話すことを意識する ・発言してみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視等で励ましの声がけをする ・頑張りを評価する

(2) 自立活動の学習シート

自己理解チェックシート

氏名()

☆ 自分のことを 振り返ってチェックしてみよう。

- 1・・・まったく違う, ありえない 2・・・あまりあてはまらない
3・・・まあそうだね 4・・・かなりあてはまる
5・・・その通り, まちがいない

	項 目	記入日	記入日
①	自分は何かあった時によい方向に考えるタイプである。		
②	自分は気持ちのコントロールがうまくできる(思い通りにならなくても, 騒いだりはしない)タイプである。		
③	自分はものごとを手順よくする(やる順番を考え, 締め切りを逆算してする)ことが上手なタイプである。		
④	自分はできなかったことを人や物のせいにせず, すなおに認めることができるタイプである。		
⑤	自分は相手の気持ちやその場の雰囲気を感じて行動ができるタイプである。		
⑥	自分は苦手なこともあきらめずに, 自分のペースで頑張ろうと思うタイプである。 あなたの苦手なことは何ですか・・・()		
⑦	自分は自分の長所と短所をわかっている。 それは・・・長所() 短所()		
⑧	自分は, もう自分がいっぱいになった時の解決方法をもっている。		
⑨	自分は人の話を十分聞いていると思う。		
⑩	自分は人と上手におしゃべりや話し合いができていると思う。		
⑪	自分は話をする時, 相手の表情や声の感じなどを意識している。		
⑫	自分は友だち関係では特に悩みはない。		
⑬	自分はこうありたいと思う目標や理想がある。		

この中で, これから 特に意識してチャレンジしたいことは何番ですか。 番 番

『あたまと心で考えようSSTワークシート』一部改編

自分の良いところチェック

氏名()

☆ 良いところリストから、自分にあてはまると思うところのチェックらんに○を付けましょう。また、ここに書いてあること以外に良いところが見つかったら、書いてみましょう。

	良いところ	チェックらん
①	ていねいに字を書いている	
②	いつも時間内に終わらせている	
③	いろいろなことを知っている	
④	忘れ物をしない	
⑤	宿題を忘れない	
⑥	先生の話をよく聞いている	
⑦	おくれないうで準備ができる	
⑧	先生のほうを見て話を聞いている	
⑨	わからないことは質問をしている	
⑩	学校を休まない	
⑪	字がきれい	
⑫	良い意見やアイデアが言える	
⑬	計算が早い	
⑭	足が速い	
⑮	リーダーシップ（みんなをまとめる力）がある	
⑯	運動神経がいい	
⑰	スポーツ（サッカー、野球、バスケットボールなど）が得意	
⑱	泳ぎが得意	
⑲	マットや鉄ぼうが得意	
⑳	ダンスが得意	
㉑	楽器の演奏や歌を歌うのが得意	
㉒	絵が得意	

『あたまと心で考えようSSTワークシート』一部改編

「自分のこと」

学習日	月 日 ()
-----	---------

氏名

1	自分の良いところチェックをして、感じたことはどんなことですか。	
	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
2	自己理解チェックで、いちばんその通りと答えた質問は何番でしたか。	番
3①	自己理解チェックで、まったくちがうと答えた質問は何番でしたか。	番
3②	まったく違うと答えた質問の中で、改善したいところは何番ですか。	
	<p>また、改善するためにどのようにすれば良いか考えてみましょう。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
4	この学習を通して、自分についてどう思いましたか。	
	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

「自分の良いところ」ふり返しシート

学習日	月 日 ()
-----	---------

氏名

今回の授業の初めに、「良いところチェック」と「自己理解」について学習しました。

ここで、もう一度「自分について」ふり返ってみましょう。そうすれば、もっと「自分を高めたい」と意識することができるようになります。

☆意識してチャレンジすること

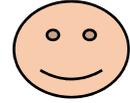
項目	
1	良かった点（頑張ったこと）はどんなところですか？

2	改善点（こうすればもっと良くなる）はありますか？

3	感想（今回の授業を通して）

こんな時どうする? ①

氏名	
----	--



Z君

1 「こんな時ありませんか?」

場面	Z君の行動をどう思いますか?	なぜ、そう思いましたか?	Z君の行動は OK?・NG?
昼休み			OK・NG
帰りの会			OK・NG

2 「自分が経験したことで、こんな時ありませんか?」

場面	その時の行動をどう思いますか?	なぜ、そう思いましたか?	Z君の行動は OK?・NG?
			OK・NG

3 「こんな考え方もあります」

•	-----
•	-----
•	-----
•	-----

4 「こんな時（場面に合わせた）」の気持ちのコントロールや行動の仕方

Mission 1

場面に合わせた、気持ちのコントロールと行動の仕方をいくつか考えましょう

気持ちコントロール		行 動
① やさしくする	② よろこぶ	A いやな気持ちにさせない言葉づかい
③ 楽しくする	④ がまんする	B 相手の表情を見る
⑤ あわてない	⑥ 悲しむ	C 失敗したらあやまる
⑦ すぐ怒らない	⑧ 頑張るぞ	D やりすぎない、ふざけない
⑨ 静かにしよう	⑩ あきらめる	E 手伝う
		F 協力する

	場 面	気持ち	行 動
1	学級の合唱練習で、いつもより 15 分長く練習することになりました。		
2	授業が始まる前、みんな静かに待っていますが、おもしろいことを言って笑わせたくまりました。		
3	勉強道具を忘れてしまいました。		
4	学校に遅刻しそう。		
5	ゲームをやりたいけど、約束の時間を過ぎています。お家の人「終わりだよ」と言いました。		
6	友達が、かんちがいして、自分のせいにされた。		

Mission 2

自分が実際に取り組める方法を決めましょう。

	場 面	気持ち	行 動
1	学級の合唱練習で、いつもより 15 分長く練習することになりました。		
2	授業が始まる前、みんな静かに待っていますが、おもしろいことを言って笑わせたくまりました。		
3	勉強道具を忘れてしまいました。		
4	学校に遅刻しそう。		
5	ゲームをやりたいけど、約束の時間を過ぎています。お家の人「終わりだよ」と言いました。		
6	友達が、かんちがいして、自分のせいにされた。		

氏名	
----	--

こんな時どうする? ～学活の時間～

1 「こんな時ありませんか?」

場面：【学活の時間】

文化祭が近づいてきました。今日の4校時の学活の時間は、準備のために係り分担をすることになりました。先生が準備の仕方について説明しています。みんな、先生の方を向いて話を聞いています。先生の説明を聞いている時、となりのY君がZ君に話しかけてきました。

Y君 「ねえZ君、昨日の『イッテ☆』見た? OO中田の☆-tube , おもしろかったよね!」

Z君 「えっ・・・?」

Z君も『イッテ☆』はお気に入りの番組だったので、一緒に話したくなりました。

Q：こんな時、Z君はどうしたらよいでしょうか?

あてはまる番号の前に○をつけましょう。

<input type="radio"/>	①	「今、先生の話の聞いているから後で話そう」と言って、先生の話の聞く
<input type="radio"/>	②	「今、先生の話の聞いているから話しかけないで!!」と言う
<input type="radio"/>	③	Y君とは仲良しの友達だから、一緒に話して盛り上がる。
<input type="radio"/>	④	無視する。
<input type="radio"/>	⑤	「先生の話の聞こうよ!!」と注意する。
<input type="radio"/>	⑥	その他 ()

2

番を選んだ理由を書きましょう。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

3 自分が実際に「Z君」のような場面になったら、どのようにしますか？

※上の考えを実際にやってみましょう

4 まとめ

氏名	
----	--

こんな時どうする？ ～学級合唱練習～

1 「こんな時ありませんか？」

場面：【学級合唱練習の時間】

合唱練習の時間です。日曜日の文化祭「合唱コンクール」本番にむけて練習に力が入っています。文化祭の準備が早く終わったので、練習時間を10分延長して練習することになりました。Z君はずっと歌っているので、早く終わってほしいと思いました。でも、みんなは一生懸命歌っています。

Q：こんな時、Z君はどうしたらよいでしょうか？
あてはまる番号の前に○をつけましょう。

①	すわって休む。
②	本番まであと少しだから練習する。
③	勝手にトイレに行く。
④	パートリーダーに「少し休けいしたい」と言ってみる。(理由も言う)
⑤	大きな声で「ああ～～～疲れた～」と言う。
⑥	先生に「少し休けいしたいです」と言ってみる。(理由も言う)
⑦	その他 ()

2 番を選んだ理由を書きましょう。

3 自分が実際に「Z君」のような場面になったら、どのようにしますか？

※上の考えを実際にやってみましょう

4 まとめ

氏名	
----	--

こんな時どうする？

<small>ぶんせき</small> <small>はやみひょう</small> 場面の分析 早見表		
場面 (何の時間)		
この行動は？	善 (ふさわしい)	悪 (ふさわしくない)
なぜそう思いましたか？		
本当の気持ち		
気持ちの コントロール		

ふさわしい 行動の仕方	
その他	

◎自分が実際にこのような場面になったら、どのようにしますか？

※上の考えを実際にやってみましょう

◎まとめ

(3) 対象生徒の困難さを改善するためのツール

支援ツール

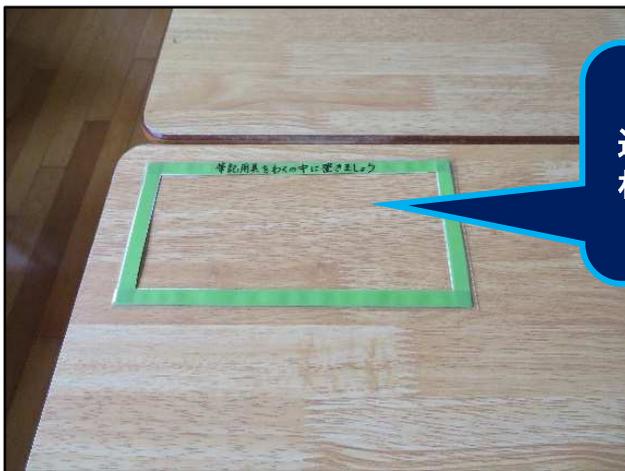
① 姿勢を保持する足台

○通常の学級で使用

○通級指導教室で使用



② 整理整頓ができるようになるための、物の置き場所を示す枠

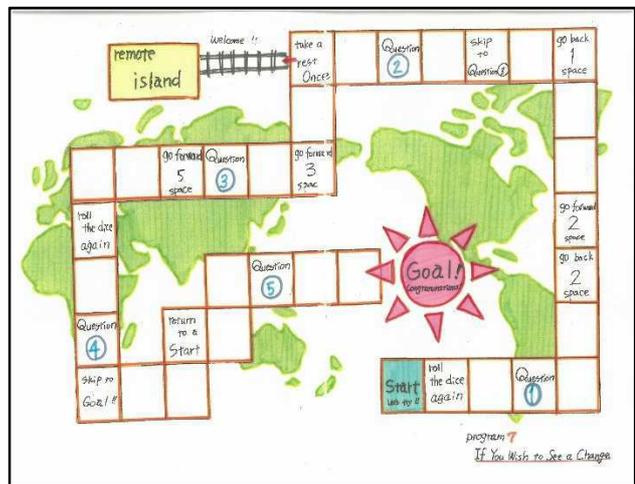


通常の学級の授業を受ける時と同じように机の左上に、筆記用具等を置く。

③ 苦手を改善するための手掛かりツール

○その日のコンディションを探るカード

○自立活動の教科指導で取り上げた教材



④ 善悪の判断について考える手掛かりカードを基にした授業の板書例

①



① 場面 暗いところ
 ・スマホをみている
 ・夜ふかし

② 行動 × 次の日に } 影響
 脳に悪い

③ 本当 ねむいけど夢中
 ・楽しい時間をたたく
 ・やめたい

④ 限定 ありなし

コントロール
 ・ねる前にやる → 早めにやる
 ・家の人に注意してもらう

イラストの場面から、善悪（ふさわしい、ふさわしくない）の判断をする。それを基に、自分の場合と比べながら、考えを深めていく学習。



将来 進学
 調理・テニスク
 ・生きていくための
 会社と計算の仕事 } 必要
 1ヶ月の勉強

場面 授業中

この行動 × 態度が悪い
 前日にも寝てた
 寝てしまった

つづき... 「別にいいと思う」

★ 本当の気持ち
 ・寝ふかしした...
 ・ちゃんと起きられるようにする ← コントロールをしよう
 ・走る(運動)
 ・冷たいお水は顔を冷やす

ゲーム 同様にやる
 おかしを食べる

① 寝たい時に
 無理に起きなくていいと思う
 ② 前日に勉強が足りなくて
 寝てしまったのは
 悪いことだ
 ないと思う



どうすれば良いか?

おどかしたら、男子がせうなるが
 考えてから、行動する。

① 今、何をすべきか
 (しぐさや、視線をみ、
 どちらを先に食べるか)

② 相手がどう思うか
 思っているか

自分勝手なルール } 怒られる → 代わりの
 時間を命がらぬ

場面 女子が男子の耳まで大きな
 声をだして、おどろかせている。

この行動は? ×

なぜ?
 ・耳がキーンと響いてこまがゆなれば
 病院に行ったり入院するかも。
 ・女子が責任をとらなれたら、関係が
 わるくなる。 → 返すお見まい

女子の行動 ちよとおどかしてみよう

【参考文献】

岩手県教育委員会(2006),『平成18年度特別支援教育指導資料NO.31 通級指導教室経営の手引き』
高橋あつこ, 海老原紀奈子(2007),『LD, ADHDなどの子どもへのアセスメント&サポートガイド
教室での観察を活かす』, ほんの森出版

文部科学省(2009),『特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部・高等部)』, 海文堂出版

NPOフトゥーロ LD発達相談センターかながわ(2012),『あたまと心で考えようSSTワークシート 思春期編』, かもがわ出版

【参考Webページ】

岩手県総合教育センター(2016),『タブレットPCの活用促進パッケージ《アセスメントツール・個別の指導計画》』

<http://www1.iwate-ed.jp/tantou/tokusi/h28/h28-1704-2sokusinpakke-ji.pdf>